

平成25年度 奥羽大学 薬学部 入学試験概要

募集人員140名

入試区分	募集人員	日程		
		出願期間	試験日	合格者発表
推薦	一期 40名	H24.10.29(月)~H24.11.8(木)	H24.11.10(土)	H24.11.11(日)
	二期 10名	H24.11.26(月)~H24.12.6(木)	H24.12.9(日)	H24.12.11(火)
	試験科目	〇面接		
	試験会場	本学キャンパス		
一般選抜	一期 45名	H25.1.7(月)~H25.1.23(水)	H25.1.26(土)	H25.1.28(月)
	二期 20名	H25.2.1(金)~H25.2.18(月)	H25.2.20(水)	H25.2.22(金)
	三期 10名	H25.3.4(月)~H25.3.18(月)	H25.3.21(木)	H25.3.22(金)
	試験科目	〇英語(I・II) 〇数学(I・II) 〇理科(物理I、化学I、生物Iから1科目を試験場で選択)		
	試験会場	二期 (本学キャンパス・仙台・東京) 二期 (本学キャンパス・仙台・盛岡) 三期 (本学キャンパス)		
AO	一期 5名	H24.9.3(月)~H24.9.13(木)	H24.9.16(日)	H24.9.19(水)
	二期 5名	H24.11.26(月)~H24.12.6(木)	H24.12.9(日)	H24.12.11(火)
	三期 5名	H25.3.4(月)~H25.3.18(月)	H25.3.21(木)	H25.3.22(金)
	試験科目	〇面接 ※選考方法 出願書類および面接試験の結果を総合して判定する		
	試験会場	本学キャンパス		
編入学	随時 若干名	願書受付後日程調整のうえ随時実施	H24.9.3(月) ~H25.3.25(月)	試験実施後 3日以内
	試験科目	〇小論文 〇面接		
	試験会場	本学キャンパス		

☆全国私立薬科大学の中で最も安い学費です。

□初年時学費合計 1,700,000円 (内訳・入学金 200,000円・授業料 1,500,000円)

〈入試に関する問合せ先〉 奥羽大学 教務課入試係 〒963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂31番1  
 TEL024-932-8931 FAX024-933-7372  
<http://www.ohu-u.ac.jp> E-mail info@ohu-u.ac.jp

奥羽大学報134号(通算No.259)平成24年5月31日発行  
 発行 奥羽大学  
 学報編集委員会  
 委員長 天野義和

〒963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂31番1  
 電話 024(932)8931(代) FAX 024(933)7372  
 ホームページアドレス <http://www.ohu-u.ac.jp>  
 メールアドレス info@ohu-u.ac.jp

# 奥羽大学報



# 134

### 目次

平成24年度入学式/編入学生入学式/  
 大学院歯学研究科入学式・オリエンテーション/新入生オリエンテーション・・・ 2  
 平成24年度高大連携講座/平成24年度科学研究費補助金 …… 3  
 今後のオープンキャンパス開催予定/(薬)父兄会・保護者懇談会/  
 父兄授業参観/歯学部学外研修/薬学部フレッシュマンキャンプ・・・ 4  
 学長杯球技大会/アロマ体験教室/薬剤師体験教室/  
 「教養図書」コーナーの設置 …… 5  
 附属病院/教授就任挨拶/平成24年度教学関係人事 …… 6  
 同窓会だより/同窓生のひろば …… 7  
 人事 …… 8

平成24年度入学式

平成24年度入学式が4月4日(水)午前10時より本学第2講義棟にて挙行された。

天野義和学長が「高度な専門知識と技術を身に付け“人間性豊かな医療人”となるよう精進してほしい」とエールを贈り、新入生を代表して歯学部箱崎麗子、薬学部吉田亜沙美両君が「社会に貢献できる人間になるため勉学に励みます」と宣誓し、厳粛な雰囲気の中入学式が終了した。



編入学生入学式

平成24年度編入学生の入学式が4月2日(月)12時20分より、記念講堂学長室において挙行された。

歯学部2年次編入学生11名、薬学部2年次編入学生9名の入学許可に続き、天野義和学長より、本学の建学の理念が述べられた。

編入学生はいずれも大学学部で学んだ経験を有しており、歯科医師、薬剤師を目指す決意を新たにしていた。



大学院歯学研究科入学式・オリエンテーション

平成24年度大学院歯学研究科入学式が4月4日(水)午後1時より附属病院棟5階第3会議室にて挙行された。本年度の新入生は9名で、本学の臨床研修修了者のほか、他大学での修了者も含まれている。

学長より、歯学の発展に寄与する研究を遂行するとともに、人間性豊かな人材になって社会に貢献して欲しい旨の告辞があった。

引き続き、全学年の大学院生を対象にオリエンテーションが行われ、研究生活、履修方法、セクシュアル・ハラスメント防止等について、清野和夫研究科長より説明があった。

新入生オリエンテーション

歯学部

4月9日(月)、新1年生オリエンテーションを実施した。全体会での学部長訓話に始まり、学生部長挨拶、学生生活関係、教務関係の説明が続いた。新入生の学力レベル調査のため確認試験も行われた。

大学生活を始めるにあたり、道を踏み誤らないための啓蒙として、薬学部宇佐見則行先生による「薬物乱用防止セミナー」と歯学部瀬川洋先生による「禁煙セミナー」が開催された。

薬学部

4月4日(水)と5日(木)の2日間にわたり、新入生オリエンテーションを実施した。4日のオリエンテーションは父兄も同席され、薬学部長より学年主任とクラス担任の紹介、1年間の学事概要等説明があり、事務部より学生証が交付された。

翌5日のオリエンテーションではまず事務部よりカリキュラムの説明があった。次いで選択科目の登録を行い、最後に学生生活上の諸注意と学生相談室の利用等についての説明があった。その後、新入生はクラス毎に分かれて、クラス担任を囲んでの新入生同士の自己紹介を行った。また、各クラス毎、学内散策も行われた。

平成24年度高大連携講座

本学は、社会に開かれた大学として教育・研究の情報発信に鋭意取り組んでいるが、その一環として平成20年度から「高大連携講座」を実施している。

この度、平成24年度のプログラムが以下のように決定した。この中で、高校側からリクエストのあった講座の担当教員が、当該高校に出向き、講義することとなる。

Table with 3 columns: 学部 (Department), 演題 (Topic), 講師 (Lecturer). It lists various topics like '噛むことは脳を活性化し、運動能力を増す' and lecturers like '清野 和夫 教授'.

平成24年度科学研究費補助金

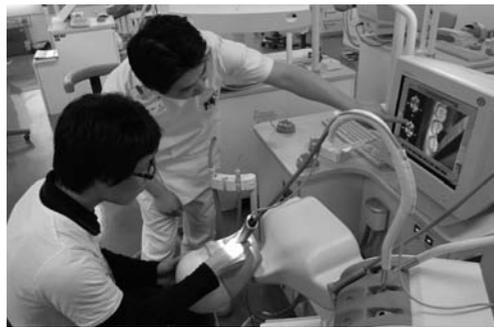
(単位:円)

Table with 6 columns: 研究科目 (Research Subject), 研究代表者 (Research Representative), 交付額 (直接経費) (Grant Amount (Direct Cost)), 交付額 (間接経費) (Grant Amount (Indirect Cost)), 研究課題名 (Research Topic Name). It details funding for various research projects.

※は他大学に研究分担者がいる研究者です

今後のオープンキャンパス開催予定

月日	内容
7月22日(日)	模擬授業を体験しよう
7月27日(金)	特別講演会 〔「世界三大峰 挑戦への道: 講師 登山家 保坂昭憲〕〕
8月5日(日)	チャレンジ!体験実習にトライ
10月14日(日)	奥羽祭を楽しもう
10月21日(日)	推薦入試に備えよう



歯科医師体験実習

(薬)父兄会・保護者懇談会

5月18日(金)に平成24年度第1回幹事会ならびに第2回定時総会が開催された。

総会への参加者は88名で、小林会長を議長として「平成24年度役員、平成23年度事業報告ならびに収支決算」がそれぞれ審議され承認された。

当日は講演会および授業参観も同時に開催されており、歯学部鈴木敏城講師による「青年期のころを探る」と題した講演が行われ、臨床心理士として日々現場に携わる先生の講演を多くの父兄が熱心に聴講していた。

学年懇談会では、学年主任が学年ごとの学習の取り組みや、実力試験の成績分布等の説明を行い、質疑も活発に行われた。

父兄授業参観

歯学部

5月12日(土)の父兄会・保護者懇談会に先立ち、11日(金)に第5学年を除く全学年で実施した。

父兄の方々が参観に来学され、少人数制で丁寧できめ細かな授業であったなどの感想が寄せら

れた。また、大学内での生活を観察できて大変良かったとの意見もあった。

教員側も普段と違った緊張感を持って講義や実習に臨んで、相乗効果があった。

薬学部

5月18日(金)は、全ての授業を公開し授業参観を行った。当日は、保護者懇談会を同時開催しており、その前後の時間を利用して、多くの父兄に参観していただいた。午後の実習の参観も行ったが、「教室での講義とは違った一面を見ることができた」と、好評であった。

歯学部学外研修

4月5日(木)、6日(金)、歯学部1年生の学外研修が天栄村のプリティッシュヒルズにて実施された。新入生の相互交流と親睦を図ることが目的である。

初日の午後、エンカウンターによる傾聴訓練が、続いて「有意義な大学生活を送るために」のテーマでKJ法による討議が行われた。2日目は、クッキングまたはスヌーカーを体験し研修終了となった。

この学外研修を通じ、学生同士のそして学生と教職員の距離が縮まったと実感された。

薬学部フレッシュマンキャンプ

4月7日(土)に薬学部新入生を対象として、裏磐梯猫魔ホテルでフレッシュマンキャンプを開催した。

午前中は、アイスブレイクやグループエンカウンターを行って、学生間や学生と教員との信頼関係を作り、午後のグループワークでは初めての試みとして合唱を行った。学生スタッフがピアノ伴奏でサポートし、皆の協力のもと2時間後には課題曲であるGReeeeNの「キセキ」のとてもきれいなハーモニーが出来上がった。



学長杯球技大会

5月26日(土)に第18回奥羽大学学長杯球技大会が開催された。アンケートの結果、今年の種目はバスケットボールとドッジボールの2種目に決定した。今年は両種目とも総当たり戦で順位を決める形式をとったため、最後までどのチームも入賞するチャンスがあり、白熱した試合が展開された。ドッジボールでは、どのメンバーで試合に臨むか、誰が外野に入るかなど頭脳戦も繰り広げられた。バスケットボールでも経験者を中心にいいプレーが見られた。

今年は学友会員が少なく難しい人員配置となったが、今回の反省点を来年につなげ、参加者をもっと楽しめる球技大会にしたい。



アロマ体験教室

5月19日(土)本学薬学実習棟にてアロマ体験教室を開催した。薬剤師の方でもアロマセラピーを学んでいる方は多く、植物の力をよく知っていたとこうと体験教室第一弾としてアロマセラピーを取り入れた。

アロマセラピーについてわかりやすく解説した後、一人ひとり自分の香りをデザインしてもらいバスソルトを作った。また、自宅で作れる簡単なハンドマッサージ体験も行なった。参加者からも家族でのコミュニケーションにも最適であり、マッサージしてもらう事は気持ちいいですねとコメントをいただいた。

薬学部入学希望の高校生から地域の方々まで多くの方にご参加いただいた。



薬剤師体験教室

5月26日(土)に「白衣を着て薬剤師なりきり体験!」と題して、薬剤師体験教室を開催した。当日は小学生から薬学部入学希望の高校生、薬に興味のある地域の方々まで約50名が参加され、にぎやかな体験教室となった。白衣を着用し、薬剤師に扮した参加者たちは、薬剤師の資格を有する教員、薬学部6年生の指導のもと、粒状のチョコや、粉ジュースなどを「くすり」に見立てた調剤業務、軟膏板とヘラを使った軟膏剤の混合調剤、「薬の正しい使い方」と題した模擬授業などを楽しみながら受講された。

「教養図書」コーナーの設置

図書館の1階閲覧室に「図書館員がおすすめする教養書」のコーナーが設けられた。従来から置かれている「学生時代に読んでおきたい本」「私の選んだ5冊」に加えて、普段、書架にまぎれて目に触れにくい一般的な教養書を選んでいる。

今のところ50冊ほどであるが、順次増やす予定。『奥羽大学三十年史』『郡山の歴史』『大学生の生き方・考え方』などがある。

図書館では「図書館は知の宝庫。1冊読んだら2単位相当分の効果バツゲン。図書館はあなた自身のもう一つの大学。「自分大学」へ入学しよう」と図書館の利用と読書の効用をすすめている。



### 附属病院

#### 平成24年度臨床研修開始式

平成24年度歯科医師臨床研修の開始式が4月2日(月)の午後3時30分、講義棟第1教室において挙行された。式には附属病院長および関係教職員が出席した。

高橋和裕附属病院長より、組織の一員であることを常に踏まえ、身だしなみを整え、時間厳守をする等の生涯研修の第1歩としての心構えについて訓辞があり、式を終了した。



#### 登院式

平成24年4月2日(月)、第5学年に進級した院内生の登院式が挙行された。

初々しく真新しい白衣で整列した89名の院内生は、附属病院長の訓辞を真剣な眼差しと新鮮な気持ちで受け止め、臨床に携わる一員としての意気込みを感じた。病院内の改修工事も進み、安心して実習できる環境も整った。

これからの臨床実習を終えるとき、彼らが歯科医師になるための基本的な知識・態度・技能と共に豊かな人間性を獲得することを切望する。



### 教授就任挨拶



薬学部  
物理系薬学 分析科学分野  
宇佐見 則行

本年4月1日付で教授職を拝命致しました。教授という要職に就き、その責任の重さを実感しているところです。現在は、薬品分析化学I・II、日本薬局方、環境毒性学の科目を担当すると共に、6年生の学年主任並びに国家試験対策委員会の委員長を務めています。

私は北陸大学大学院博士前期課程修了後、これまでに新新薬品工業株式会社研究開発室研究員2年、北陸大学薬学部衛生薬学教室助手6年半、岐阜薬科大学学生化学教室研究助手4年半、九州保健福祉大学薬学部衛生薬学講座講師6年を経て、2年前に准教授として赴任してきました。

研究については、「1.大麻成分の分析、代謝と毒性に関する研究」、「2.睡眠促進物質(Sleep Promoting Substances, SPS)、特にジペプチド、カルノシン類に関する研究」、「3.薬物乱用に関する調査とその防止教育に関する研究」を行っています。詳細は、ホームページ掲載の研究紹介を御覧頂ければ幸いです。

最後になりましたが、本学の教育理念に基づき、自彊不息の精神で本学並びに薬学部発展に貢献する所存ですので、御指導御鞭撻の程、何卒宜しくお願い致します。

### 平成24年度教学関係人事

#### <歯学部講座主任>

講座名	講座主任
歯科保存学	横瀬 敏志
歯科補綴学	山森 徹雄
口腔外科学	高田 訓
成長発育歯学	福井 和徳
放射線診断学	鈴木 陽典
生体構造学	渡邊 弘樹
口腔病態解析制御学	清浦 有祐
口腔機能分子生物学	宗形 芳英
生体材料学	川島 功
口腔衛生学	廣瀬 公治

#### <歯学部学年主任およびクラス担任>

学年	学年主任	クラス担任
1	藤井 史郎	車田 文雄 鈴木 敏城 茂呂祐利子
2	渡邊 弘樹	宇佐美晶信 安部 仁晴 石田 喜紀 前田 豊信
3	宗形 芳英	瀬川 洋 玉井利代子 遊佐 淳子 古山 昭 大橋 明石
4	山崎 信也	佐々木重夫 原田 卓哉 佐藤 穩子 竜 立雄 濱田 智弘
5	高田 訓	川合 宏仁 釜田 朗 鈴木 史彦 松山 仁昭 大須賀謙二
6	横瀬 敏志	廣瀬 公治 深井 直実 川島 功 伊東 博司 加藤 靖正 高橋 慶壮 山森 徹雄 島村 和宏 岡田 英俊 金 秀樹 影山 勝保

#### <薬学部学年主任およびクラス担任>

学年	学年主任	クラス担任
1	伊藤 鍛	1組 伊藤 鍛 2組 佐藤亜希子 3組 山岸 丈洋 4組 木田 雄一
2	竹元万壽美	1組 竹元万壽美 2組 倉本 敬二 3組 伊藤 頼位 4組 八巻 史子
3	柏木 良友	1組 柏木 良友 2組 堀江 均 3組 山下 俊之 4組 関 健二郎
4	大島 光宏	
5	早坂 正孝	
6	宇佐見則行	

#### 同窓会だより

緑が美しく風薫る季節となりました。同窓の先生方におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

今年は、例年になく寒い日が続き桜の開花も1週間ほど満開の時期が遅れました。間もなく暑い季節がやって来るでしょうが、電力不足と節電のこともあり大変心配しております。

まず、3年前の福島県支部同窓会30周年記念式典の際には、多くの先生方にご出席頂きまして有り難うございました。御礼申し上げます。

去年は、東日本大震災という未曾有の大惨事があり、県支部同窓会員の中には自宅・診療室が津波で流されたり、いまだに立ち入り制限区域のため自由に自宅や診療室に帰ることができない先生方

がいらっしゃるようです。地震の直後、被災されました支部会員に、僅かでは御座いますが、お見舞金という形でお送りすることができました。

現在は、県内・県外で勤務されている先生や、また新規で開業された先生もおり、少しずつ復興を遂げているように見られますが、放射能という見えない脅威でいまだに県南県北方部は特に小学生の数が震災前に比べて激減しております。

いずれにせよ、震災前のような穏やかな生活に戻るのにはまだまだ時間がかかるのかもしれない。そして震災・原発の被害に続いて台風15号の水害もありました。

総会は例年通り6月にそして忘年会は11月に開催しております。本年の総会と同時開催の学術講演会は同窓生の大河雅之先生を講師にお招きし、県内外の他大学の先生も参加できるようにオープンセミナー形式で開催します。

平成24年度は県歯科医師会と任期を統一のため1年と短い期間ではありますが、少しでも未入会会員を減らす努力をし、そしてみんなで協力し合っ

て県内同窓生一同少しずつでも復興の輪を広めていきたいと思っております。

(福島県支部 専務 加羽澤 啓一)

#### 同窓生のひろば



江良 謙次(歯学部 4期生)

山形県は福島県に隣接した県です。山形市は郡山市からおおよそ150kmの距離にあり、車で2時間弱であります。山形県は村山地区と置賜地区、庄内地区の3地区に分けられ、現在会員数は35名です。主に米沢市を中心とした置賜地区と山形市近郊で開業されている会員が半数以上を占めており、庄内地区の会員は1名です。私は昨年より支部長をしております。昨年の東日本大震災では、山形県でも地震の規模ではかつてない程の大きな揺れが数分間続き、外を歩いている人などしゃがんでしまうほどの状態でした。その後、東北各県同様に、数週間にわたり不自由な生活を強いられました。しかし家屋の損壊などは山形市内ではほとんど見られませんでした。あれから1年以上経っておりますが、福島県から避難されている方は、一時期よりも減ってきているものの、震災に引き続き起こった原発事故により避難を余儀なくされている方がまだ1万人近く山形県にいらっしゃると思っております。私の診療所にも避難されている数人の方がまだ通って来ております。

